

先進都市の事例紹介

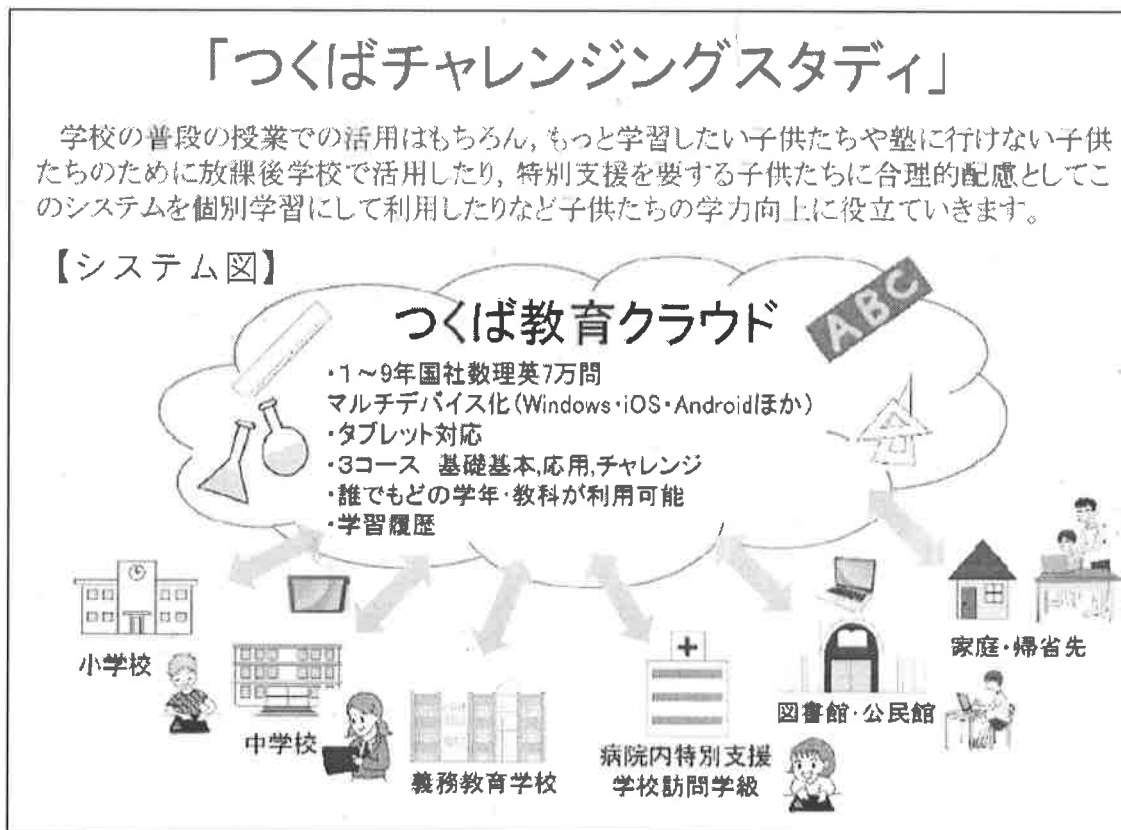
1 茨城県つくば市

子供たちの主体的な学びの創造に役立てるため、全国に先駆け約10年前に電子黒板を導入し、プレゼンテーションなどに活用しています。

〔主な取組〕

○つくばチャレンジングスタディ

平成28年度、学校や家庭で利用できる公立学校初のeラーニングシステム「夢をつかもう3Cつくばチャレンジングスタディ」をリニューアルし、特別支援学級や放課後学習、不登校や病気で学校に来られない子供たちにも活用しています。



2 佐賀県武雄市

ICTを利活用した最先端の教育に取り組み、「世界一通いたい学校」を目指すため、小中学校で児童生徒1人1台のタブレット端末を整備しています。

〔主な取組〕

○スマイル学習（武雄式反転授業）

授業前日にタブレットPCを家庭に持ち帰り、動画を活用した予習を行い、翌日の授業に臨みます。事前に予習をすることで、授業の中では通常の授業より話し合いや学びあいなどを中心とした協働学習を行うことができます。

○プログラミング教育

平成26年6月に武雄市、(株)ディー・エヌ・エー、東洋大学の3者により協定を締結して取組を開始しています。ディー・エヌ・エーが開発した教材アプリケーションと講師派遣を受けて、プログラミングの基本的な考えや、実際の生活の中でどんなところにプログラミングが使われているのかを学んでいきます。

